

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

第1597回例会 令和4年10月13日(木)

【会長の時間】

畠 徳治

皆さん、こんにちは。土曜日に会長、幹事会がありました。春山さんへ黙祷して弔って始まりました。会場は新楽だったのですが、親子でロータリアンという事でした。お父さんが深谷クラブ、子どもさんが深谷東クラブ所属だそうです。またウクライナ関係の募金活動を地区大会で話があったものとは別に行いたいという事でした。会員のみで集めるだけではなく、一般の人からもという事だと思います。支援活動をロータリーでやっていますという趣旨だと思います。



今回はウイルスの話ですが、前回図で説明致しましたが、ウイルスと病気との関係はあるのパターンでほとんど説明出来るという形です。

インフルエンザについて紹介させて頂きます。

「ウイルスと人間の競争が病気である」

インフルエンザウイルスの場合は、空気感染とか飛沫感染、つまり人の痰や唾液が空気中に飛んで、その中のウイルスが他の人の口や鼻を通してのどの奥や肺に入っています。インフルエンザウイルスはRNAのテープを持ったウイルスですが、このRNAが鼻やのどや肺の細胞に入り込み、その細胞の中で増えていきます。しかし、私たちの鼻やのどや肺の細胞は、DNAやRNAを使って大切な機能を行っているので、入り込んだウイルスのRNAがどんどん増えてくると、普通に働いている細胞がダメージを受けることになります。競争相手が出てくることによって正常な働きが出来なくなるのです。そうすると、例えばどの細胞はダメージを受けておの表面が殺されて痰になり、その痰を取り除こうとしてくしゃみや咳などの反射が起こります。また、多くの粘膜の細胞が死んでしまうと修理して新たにつくりなおさなければならぬし、変なものが増えたということに対して体を守ろうとする働きをしなければなりません。ウイルスは私たちにとっては異物なので、それを殺してしまおうと大変高い熱を出すという事になります。特にインフルエンザウイルスは増える力が非常に強く、それに対する私たちの体を守ろうとする働きも強くなりざるをえなくなるので、解熱剤を飲んでもなかなか熱が下がらないし、筋肉も痛いという症状

が長く続くのです。

今インフルエンザウイルスを一つの例にしてお話ししましたが、ウイルスが私たちと同じテープ、同じ4つの文字を使って増えようとするのに対して、私たちの体はそれを増えさせないようにしようとする。その競争が実は病気であるということです。

先ほどのインフルエンザウイルスが肺とか喉にうつるのは肺とか喉が持っているレセプターという細胞の中の突起ですが、その突起にうつるという事です。血液にうつる病気は血液が持っている突起にうつる。細胞がどんな突起を持っているかで、どのウイルスに感染するか違ってきます。突起が鍵になっているという事です。

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より

①S L ジャックプロジェクトについて

②ポリオデーに関する販促品の配布について

2. 米山記念奨学会より事業報告書及び決算報告書

マサカ（魔坂）と私

山田 利明会員

私の趣味は山登りです。仕事も趣味のような事もありますが。コロナが流行る前には行きたい所は行きました。その後コロナ禍になり、近所の山を見直そうという事で、計画を立てました。私の山の会は「ジャパンハッピーフレンド」という名称です。年を取ったので、近所の山という事で、「秩父フロントマウンテントラバース」と名付けて9日間でまわる計画を立てました。車を使わずに歩いてみようと始めました。

1日目は2021年10月18日でした。電車で波久礼まで行き、小林みかん園を通って、寒神峠に行き釜伏を通って登谷山までが1日目でした。もう少し行けたのですが、早く登ろうという事ではなく、お酒を持って行って、危ない所はありませんので、お昼に小宴会をしてゆっくり帰って来ようと。1日目は登谷山まで行き、親鼻駅まで歩いて、それぞれ電車で帰ってきました。



1ヶ月に1回を予定して、2日目は2021年11月14日で、親鼻から西武バスに乗り、登谷山の前回下りた所まで行き、皇鈴山を通って、県の牧場を通り過ぎて下りて、三沢のバス停に下りて来て、西武秩父まで行き、電車で帰つて来ました。

3日目は2021年12月17日、バスで三沢の登山口まで行き、歩いて大霧山に行き、定峰部落を下りて、楽しく宴会をして帰りました。

4日目は2022年2月4日ですが、間があったのはスキーに行っていましたので、山登りは休憩していました。三沢まで西武バスに乗り、美の山を横断して、皆野駅に下りて来て解散して、電車で帰って来ました。皆さん、歩きで家から来てくださいと。お昼にお酒を飲みますと。

5日目、この辺まで順調でした。皆野駅に就業して、歩いて破風山まで行き、そこから日野沢に下りて、日野沢の門平バス停まで歩き、そこからバスで皆野に帰って来ました。また一杯飲んで帰って来たと。ここまで順調でしたが、その後しばらく間があきました。

夏は暑いからよそうと言っていましたが、6月頃までは大丈夫と思っていたのですが、人生にマサカという事があります。計画は立てていたのですが、私の都合で半年山に行く事が出来ませんでした。

私のマサカは魔坂と書きましたが、私の家に不幸があり、半年いろんな事があり、それを何とか解消しようと、最後は神頼みまで考え、神社にお願いしたり、般若心経を書いてみたりしました。孫が病気になり、最近良くなってきましたが、半年くらい掛かってしまいました。

他にもマサカはありました。コロナが流行り、山登りが出来なくなったのもマサカです。今までロシアがウクライナに侵攻し、世界的にもマサカです。今後どう展開するか分かりません。

計画を立ててもいろいろな事が起こり、断念しなくてはならなくなると。私は常に仕事でもマサカがあると思い、無理はしないようにと考えていました。人間も一人ではダメなので、何人か揃えておかないと相手に迷惑を掛けるとか考え、うちの設計事務所も経営したりしていました。

仕事では東日本大震災の時に仕事がなくなりました。役所もそっちにお金を掛け、一般の人も生活が小さくなり、かなり底辺になりましたが、何とか貯金等で持たせましたが、マサガが起きたときには本当に大変になります。

今回は道楽ですが、コロナと孫の病気が重なりましたが、山については6日目を10月31日に予定しています。バスで東門平まで行き、城峯山に行き、金沢のバス路線に下りて来て、帰ると。

次はまた皆野駅に行って、金沢のバス路線に乗って行き、宝登山を通って、野上駅に。次は野上駅から不動山に行き、無理をすれば波久礼まで帰る事が出来るので、8日目で終了するかもしれませんのが、無理をしないのが主旨なので9日で計画しています。

楽しみと体の健康と。行くためには最低5時間は歩きますので、普段から歩いていないとどんなに簡単な山でも登れません。マサカを避けて、準備をしながらやっていてもマサカは来ます。考えられない事が起こります。そこで今日の卓話に「マサカ（魔坂）と私とタイトルを付けました。

今日も小さいマサカですが、子供二人が私の事務所で一緒に働いているのですが、次男の息子に5人子供がいます。急に学級閉鎖になったという事で、孫が二人来ました。子守は体力がないと出来ませんので、常に準備しておくようになっています。マサカはあると思って普段から生活するようにしています。

秩父フロントマウンテントラバースと今回の山歩きを名付けましたが、テレビで田中陽希が日本300名山走破という事で、車を使わず走って、次の山まで行くまで歩いて、海はカヌーで渡り、鹿児島の屋久島から利尻まで全て自力で走破するという事でした。それを真似してとても小さいトラバースで歩いて楽しんでいます。

毎日ウォーキングをしている人でしたら、今回の山は大丈夫です。1万5千歩くらいを歩きます。一日6千歩から8千歩歩くのが良いという事ですから、普段の日は流しながら歩けば健康になると思います。

